

戦略3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり

計画期間 令和元年度～令和5年度

主管部局 健康福祉部 関係部局 企画政策部 経済部

基本的方向

- 家庭や学校、職域、地域などで、生涯を通して積極的に健康づくりや健康増進のための活動を実践、継続できるよう推進します。
- 生活習慣病の重症化予防や食育活動、生涯学習の推進、運動習慣の定着など、幼年期から高齢期まで健康に根ざした取組を支援します。
- 進んで健康的な生活習慣を実践する健やかで活力に満ちた市民の増加をめざします。
- 江別版「生涯活躍のまち」構想の実現に向けた取組を推進します。

戦略を構成する具体的施策の事業費推移

名 称	実績		予算額				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
(1) 健康増進活動の推進	23,936 千円	34,465 千円	32,257 千円				
(2) 疾病予防・重症化予防の促進	139,328 千円	155,669 千円	167,637 千円				
計	163,264 千円	190,134 千円	199,894 千円				

戦略実現に向けての数値目標

◆数値目標(1) 健康を維持するために心掛けていることがある市民割合(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標
86.6	85.2					90.0

◆数値目標(2) 過去1年間に健康診査を受けた市民割合(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標
66.7	66.0					70.0

◆数値目標【基盤】 日頃の生活の中で地域の人との交流がある人の割合(高齢期)(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標
48.8	41.9					55.0

◆数値目標【推進機能】 江別市の情報発信力が高いと思う市民割合(健康に関する情報)(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標
45.4	51.5					50.0

具体的施策（１） 健康増進活動の推進

健康寿命を延ばし、だれもが健康で安心して暮らせるまちをめざして、市民が家庭、学校、職域、地域などで、生涯を通して、積極的に健康づくりや健康増進のための活動を実践、継続できるよう推進します。

◆重要業績評価指標（KPI） 健康づくり事業への参加者（単位：人）

現状値	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標
9,927	9,851					10,000

<令和３年度の方針>

新型コロナウイルス感染症の影響により令和２年度の各種事業の参加者数が減少したことから、令和３年度の指標は令和２年度予算よりも減少することを想定しています。事業の実施に当たっては、3密を避けるなど感染予防に十分留意し、オンラインによる健康教育など、工夫しながら市民の健康増進活動を推進します。

また、江別版「生涯活躍のまち」構想の実現に向け、札幌盲学校跡地の一部を活用した拠点地域「ココルクエべつ」がオープンすることから、拠点地域を中心に、就労や社会活動、住まい、介護などが一体的かつ継続的に提供されるよう地域や事業者と連携していきます。

<課題>

- 子ども期から正しい生活習慣を身に付ける
- 自らの健康について関心を持つ市民の増加
- 運動などの健康づくりに取り組む市民の増加
- 健康経営の認知度向上と具体的な取組内容の周知
- 生涯活躍のまちの認知度向上と生涯活躍のまち形成事業計画の推進

<取組の概要>

- ・保健師や看護師等による小学校での「喫煙予防教室」や、中学校での「生活習慣病予防教室」を開催
- ・Ｅ－リズムの普及啓発と市民への定着化を図る
- ・地域健康づくり推進員や食生活改善推進員、健康づくりサポーターと連携協力し、地域の健康づくり活動を推進
- ・健康経営に関する普及啓発活動の推進
- ・生涯活躍のまち拠点地域の市民周知と来訪者増に向けた取組の推進

事務事業	成果指標	令和元年度	令和２年度(予算)	令和３年度(予算)	備考
健康づくり推進事業	参加者数	6,453 人	7,917 人	4,840 人	左記事業費は、健康相談経費2,514千円を含む
	補助事業参加者数	1,086 人	1,000 人	800 人	
	事業費	6,396 千円	7,371 千円	7,098 千円	
健康教育事業	健康教育事業参加者数	3,398 人	3,850 人	3,360 人	
	事業費	951 千円	1,124 千円	958 千円	
総合特区推進事業	健康企業・健康事業所宣言等の認定数	28 社	30 社	34 社	
	事業費	13,412 千円	12,958 千円	14,667 千円	
生涯活躍のまち整備事業	拠点地域内施設の利用者等の数	0 人	0 人	438 人	
	事業費	3,177 千円	13,012 千円	9,534 千円	

具体的施策（２） 疾病予防・重症化予防の促進

食生活の改善や運動習慣の定着などにより、生活習慣病を予防するとともに、健康診査やがん検診の推進により、疾病の早期発見、早期治療に結びつけ、合併症や重症化の予防に努めます。

◆重要業績評価指標（KPI） 過去１年間にがん検診を受けた市民割合（単位：％）

現状値	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標
39.8	37.0					45.0

<令和３年度の方針>

「（１）健康増進活動の推進」と同様に、各種事業の実施に当たっては感染予防に十分留意しながら市民の疾病予防などを推進します。健康都市推進事業のメイン事業である「健康フェスタ」を令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止としましたが、令和３年度も、感染症の状況を踏まえ開催の可否について判断していきます。

また、各種健診・検診でも３密を避ける工夫をしながら市民の疾病予防に努めます。指標は減少または横ばいで見込んでいますが、感染予防に努めていることをPRすることにより、受診率の向上に努めます。

新規事業として、「高齢者保健・介護予防一体的実施推進事業」に取り組み、高齢者の医療・介護・保健データを一体的に分析して、個別支援や健康教育を行うことで健康寿命の延伸を図ります。

<課題>

- 特定健診受診率・特定保健指導利用率の向上
- がん検診受診率の向上
- 運動や社会参加による介護予防の推進
- 食生活の改善に取り組む市民の増加
- 市民に不足している野菜摂取量の増加

<取組の概要>

- ・節目年齢受診無料等のインセンティブの提供や、電話・訪問等による受診勧奨を実施
- ・検（健）診申込窓口の一元化、WEB予約の導入による受診しやすい環境の整備
- ・生活習慣病予防に効果のある野菜摂取推進の取組を実施
- ・住民が主体的に集まる通いの場を活用した介護予防・疾病予防講話の実施
- ・高齢者の保健と介護予防を一体的に実施

事務事業	成果指標	令和元年度	令和２年度(予算)	令和３年度(予算)	備考
健康都市推進事業	健康のために心がけていることがある市民割合	85.2 %	89.0 %	89.0 %	
	事業費	2,654 千円	2,411 千円	2,037 千円	
成人検診推進事業	がん検診平均受診率	14.1 %	15.2 %	12.4 %	
	事業費	71,951 千円	79,361 千円	84,400 千円	
特定健康診査等事業【国保特会】	特定健診受診率	25.7 %	29.5 %	30.0 %	
	特定保健指導利用率	33.5 %	39.5 %	41.2 %	
	事業費	60,937 千円	68,142 千円	69,870 千円	
一般介護予防事業【介護特会】	介護予防出前講話の受講人数	1,038 人	1,464 人	1,200 人	
	通いの場等での専門職講話の受講人数	523 人	760 人	320 人	
	事業費	3,786 千円	5,755 千円	6,083 千円	
高齢者保健・介護予防一体的実施推進事業	専門職派遣による健康教育・相談延べ人数	— 人	— 人	800 人	
	重症化予防等の個別支援実施人数	— 人	— 人	100 人	
	事業費	— 千円	— 千円	5,247 千円	